



ざまっと通信

座間市民活動サポートセンター情報誌

NO. 36 2017年9月15日発行
発行：座間市民活動サポートセンター
(運営：ざま市民活動応援広場)
住所：座間市緑ヶ丘 1-1-1(ざまコミュニティプラザ)
TEL：046-255-0201
FAX：046-255-3243
E-mail：ss-zama@feel.ocn.ne.jp
URL：http://zamat.genki365.net/

報告

サポートセンター登録団体の 6団体がリユース(再利用)パソコンをゲット!

2017年8月26日(土)に「第14回かながわイーパーツリユースPC寄贈プログラム寄贈式 in ちがさき」を開催しました。

「団体でパソコンを買いたいけど資金が無くて困っている」、「個人のパソコンを使っていたけど団体の情報は別に管理したい」、そんな団体のお悩みを解決するこのプログラムは、登録団体の情報化だけでなく寄贈団体同士の交流も目的とし、県内10市の市民活動支援組織と認定NPO法人イーパーツが協働で行っています。今回は例年以上に多数の応募がありましたが、座間市で申請した6団体については熱い思いが審査会に伝わり皆さん寄贈を受けることができました。

当日は、このプログラムが障がい者の就労支援にもなっているといった説明や情報セキュリティについて学ぶ双六「セキュろく」、全寄贈団体の活動紹介などを行いました。また、交流企画として行った「思わず応援したくなる! 団体ビジュアルイメージ・コンテスト」では、特定非営利活動法人どんぐりと山猫会が見事2位になり賞品(プリンター)が贈呈されました。次回の募集は情報サイト「ざまっと」等でお知らせします。



PCが寄贈された座間市の登録団体(写真左から)

- さがみ野やすらぎ街づくり委員会(1台)
- 神奈川県中央高年齢者野球愛好会(1台)
- 還暦軟式野球チーム「座間クラブ」(1台)
- 座間市日中友好協会(1台)
- かがやき(1台)
- 特定非営利活動法人どんぐりと山猫会(2台)

フリースペースでイベントしませんか?

10月からサポートセンター内のフリースペースで、登録団体が一般市民を対象としたイベントや講座などを開催できるようになります。

フリースペースは、活動拠点をもたない市民活動団体の会議や急な打ち合わせなどでも気軽に利用できる場として、これまで会議や打ち合わせでの利用に限定していましたが、一定の要件を満たせば、事業を開催できるようになります。団体の活動のPRの場として、ぜひ、ご活用ください! 詳細は、登録団体にお知らせします。



(イメージ写真)

登録団体の 基盤強化に 向けて



サポートセンターの運営団体である「ざま市民活動応援広場」では、登録団体の運営基盤の強化に向けた支援を具体的に検討中です。11月頃には、説明会を開催する予定です。

実践経験にもとづくテクニックを伝授！ 助成金申請書・企画書の書き方講座を開催

平成29年7月23日（日）10:00～12:30 参加者11名（7団体）

講師：特定非営利活動法人 相模川倶楽部 理事 鈴野和重氏



より実践的な講義にするため、参加者には、事前課題として実際に募集していた助成金の申請書の記入事例を見て、改善案などを検討していただき、当日は、それをもとに講義が行われました。申請書の各項目は何を聞かれ何を書くべきなのかを見極め簡潔にまとめること、誰でも読みやすい表現を使うこと等が重要であることを学びました。

講座終了後のアンケートでは「事前課題で具体例があったため分かりやすかった」「事例が豊富でありがたかった」などの多くの感想をいただきました。

参加団体のうち2団体は、後日開催する講師との個別相談会も希望され、実際に応募を検討している助成金申請書について講師がアドバイスする予定です。

※講義の前に、「かながわボランティア活動推進基金21」について県担当職員より募集の説明も行われました（左図）。

【ボランティアはじめの一步】

県立相模向陽館高等学校のボランティアガイダンスに協力

サポートセンターは、県教育委員会より高校生のボランティア活動の拠点である「地域ボランティアエアポート」に指定されています。

その一環として、6月26日（月）に生徒のボランティア活動を積極的に推進している相模向陽館高等学校より依頼を受け、これから活動を始めようとする生徒を対象にしたボランティアガイダンスの開催に協力しました。

当日は、手塚明美先生（一般社団法人ソーシャルコーディネーターかながわ 代表理事・認定NPO法人藤沢市民活動推進連絡会 理事・事務局長・神奈川大学講師）をお招きし、ボランティアの基本的な考え方やチャレンジする前のマナー・心得、どんなことから始めたらいいのかなどを具体的にわかりやすく説明していただきました。



サポートセンターでは、登録団体や行政からのボランティア募集情報をボランティアをやりたいという高校生へ情報提供しています。



サポートセンター廊下の掲示コーナー



☆わがサークルを取り上げてほしい、イベントを計画しているので紹介してほしいなど掲載の希望がありましたらご連絡ください。

詳細はサポートセンターへお問合せください

TEL：046-255-0201

FAX：046-255-3243

オカリナ・ピーポの会

老人施設等への訪問は毎月2回～4回実施しています。私たちが演奏し、皆さんに歌って頂きます。

オカリナはいい音色だと言ってくれる方々に励まされ一緒に楽しんでいます。オカリナの演奏に多少経験のある方で、訪問活動に参加可能な方、一緒に活動しませんか？

活動日時：（練習）月4回 13:00～15:30

：（訪問）不定期

活動場所：サニープレイス座間



お知らせ
パート2



座間市環境政策課のグリーンカーテンプロジェクトの一環として育てているゴーヤとユウガオは、フリースペースのガラス一面を覆うようにぐんぐん伸び、続々と開花し、実をつけています！センター内から見える緑がとても涼しげです。



報告

ボランティア活動施策推進会議 スタッフセミナーに参加

7月3日（月）かながわ県民活動サポートセンターで開催された、職務経験が浅いスタッフ（主に2年未満）を対象としたセミナーに4名が参加しました。

はじめに「改めて考えよう～地域における市民活動サポートセンターの役割」をテーマに、藤沢市市民活動推進センター 手塚明美氏、さがみはら市民活動サポートセンター 水澤弘子氏の対談が行われ、支援センターの基本的な役割や心構え、今後の課題について学びました。

続いて「第1回全国NPO事務支援カンファレンス」についての情報提供があり、最後に「支援センターの役割を考える」を題材にワークショップも行いました。

他支援センターや行政の方との情報共有、意見交換を通して当サポートセンターと他サポートセンターとの違い（利用者の属性・支援の内容等）を知ることができました。

また、団体の方が求めているものを把握することや、そのためには団体の方との日頃のコミュニケーションが重要であることも学びました。今後、座間のサポートセンターをより良くするため努力していきたいと思っております。

事務局からのお知らせ

NPOのお悩みありませんか？

市民活動団体の皆さま！ 無料出張相談会のお知らせ

昨年に続き、かながわ県民活動サポートセンターボランティア活動相談窓口の相談員が、当サポートセンターにて、市民活動団体の運営（資金・人材・事業計画など）やNPO法人の設立、会計報告などに関する相談を受けます。高い専門性を活かした相談を座間で受けられるめったにないチャンスです！

もやもやを抱えている団体は、ぜひこの機会をお見逃しなく（1団体40分程度）。

◆開催日時：2017年10月27日（金）
（要予約）13:30～、14:30～、15:30～

◆ところ：座間市民活動サポートセンター

◆申込み・問合せ：

ボランティア活動相談窓口

≪火～土曜 12時～17時≫

TEL:045-312-1121 代表（内線 4112）

県主催



今年もふるさとまつり会場で お待ちしております

11月19日（日）は、座間市民ふるさとまつり会場（座間中学校校庭）にサポートセンターブースを開設するため、センターは休館にいたします。印刷機やコピー機、パソコン等のご利用はできません。

市民活動相談などには会場にて応じますので、ぜひ、お気軽にサポートセンターブースにお立ち寄りください！！今年もオリジナルざまりんグッズを販売します♪♪

サポートセンター登録数・利用者数

2017年7月31日現在

登録団体数 : 198 団体

ざまと登録団体 : 126 団体

利用者数累計 : 2020 人

（2017年4月から）

≪連載：団体運営ちょっと見直しませんか？②≫

なぜ“会計”が必要な？

「うちはお金を使わないから会計係はいない」という団体もありますが、会議資料のコピー代や施設利用料、備品購入など、ほとんどの団体に何らかの支出があるはずですよ。

では団体にとっての収入は何でしょうか？それは団体の目的を成し遂げるために、また、活動が持続するように様々な人から託されたお金（会費、助成金、寄付金、等）です。

ですから、託されたお金をきちんと管理し、説明できるようにしておくことが必要です。会計係や監査を代表とは別におき、会の運営を一人が独占しないような役割分担も重要です。

また、会計というと専門的な知識がそうですが、①出納帳への記帳を行う、②レシート（領収書）を保管する、③残高を合わせる、などを日々行うことが重要で、複式簿記や会計ソフトは必ずしも必要ではありません（NPO法人の場合は所定の会計書類を提出する必要があります）。

例え少額でも会計をきちんとやることで信頼性が増し、会員や寄付者の獲得につながります。それによって、団体の目的の達成にもぐんと近づくのではないのでしょうか。

応援ひろばから

サポートセンターの運営を通して、市民活動団体の皆さんと日々接していると、人材（スキル）や活動場所を確保する難しさや、活動に必要な備品の購入資金の不足など、運営基盤に関する悩みをお聞きすることが多く、団体の基盤強化に対する支援の実現に向けて頑張ってきました。そこで、2016年に登録団体の皆さんにアンケート調査を実施し、支援の方法を検討し続けてきましたが、ようやく具体的な案ができそうです。団体の皆さんには、基盤をしっかりと作り上げ、持続可能な組織と運営を備えた市民活動団体として、協働のまちづくりを推進してほしいと願います。（す） [ざま市民活動応援広場]